

2017年度 保護者満足度調査 結果と質問等への回答

聖隷クリストファー大学
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

後援会

2017 年度保護者満足度調査 結果報告

【実施時期】

2017 年 12 月中旬 ～ 2018 年 1 月 14 日締切

【実施方法】

当該調査の調査票のみを全保護者宛てに郵送。

アンケートの回答方法は返信用封筒による郵送、自宅学生によるアンケートの持参もしくは携帯電話やパソコン・スマートフォンからのインターネットでの回答。

【調査対象】

全学部学科 1～4 年次生および介護福祉専門学校 1・2 年次生の保護者 計 1,430 名

■2017 年度保護者満足度調査 (最終)

【回収率 (全体)】

全体	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合計
回答数	244	203	195	179	821
回収率	65.9%	57.2%	56.4%	49.9%	57.4%

過去の回収数および回収率

全体	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計
2016 年度	235 (65.5%)	200 (57.5%)	174 (49.2%)	152 (44.6%)	0 (—)	761 (54.3%)
2015 年度	215 (61.4%)	180 (50.7%)	152 (44.9%)	149 (41.2%)	0 (—)	696 (49.8%)
2014 年度	157 (43.9%)	103 (30.3%)	113 (32.4%)	82 (23.2%)	2 (—)	457 (32.6%)

[回収率（学部(学科)別)]

看護	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	103	80	79	61	323
回収率	66.9%	51.3%	50.0%	38.9%	51.7%

社福	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	24	22	21	23	90
回収率	70.6%	59.5%	61.8%	59.0%	62.5%

介護	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	4	4	7	8	23
回収率	36.4%	100.0%	63.6%	47.1%	53.5%

こども	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	22	18	22	33	95
回収率	56.4%	51.4%	56.4%	70.2%	59.4%

理学療法	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	28	33	20	23	104
回収率	62.2%	73.3%	54.1%	56.1%	61.9%

作業療法	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	21	19	21	21	82
回収率	65.6%	55.9%	61.8%	55.3%	59.4%

言語聴覚	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	23	14	24	10	71
回収率	79.3%	56.0%	72.7%	50.0%	66.4%

専門学校	1年次	2年次	合計
回答数	19	12	31
回収率	73.1%	63.2%	68.9%

※学部学科・学校不明回答2件

インターネットによる回答は171件（全体の回答数の20.8%）

[結果の概要]

設問項目ごとに「大変満足している」「やや満足している」の合計を算出し、その値を満足度指数とした場合、「本学に対する総合評価」は93.7%と高い評価をいただきました。

しかし、項目別では必ずしも評価の高い項目ばかりではないため、満足度が低い項目については今後の対応（改善策）について検討しています。

また、自由記述としてお寄せいただきましたご意見・ご要望に個々に回答できませんが、[質問・要望に対する回答]として14ページ以降に回答させていただいておりますのでご覧ください。

なお、回答率は57.4%、回収件数は821件といずれも調査を開始した2007年度以来最多の回答をいただくことができました。

お忙しいところご協力いただきまして有り難うございました。

2018年度も引き続き実施をいたしますので、より良い大学づくりのため、今後も保護者の皆様の忌憚のないご意見を是非お寄せくださいますようご協力をお願いいたします。

2012年度～2017年度「保護者満足度調査」各項目の推移

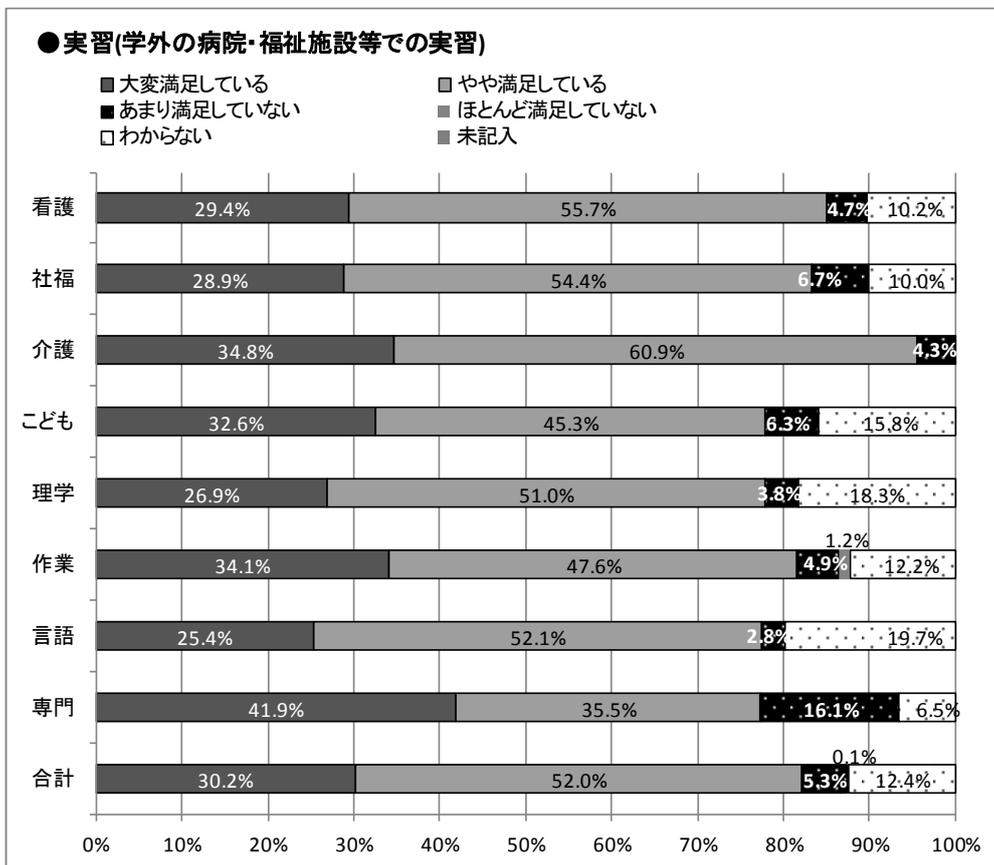
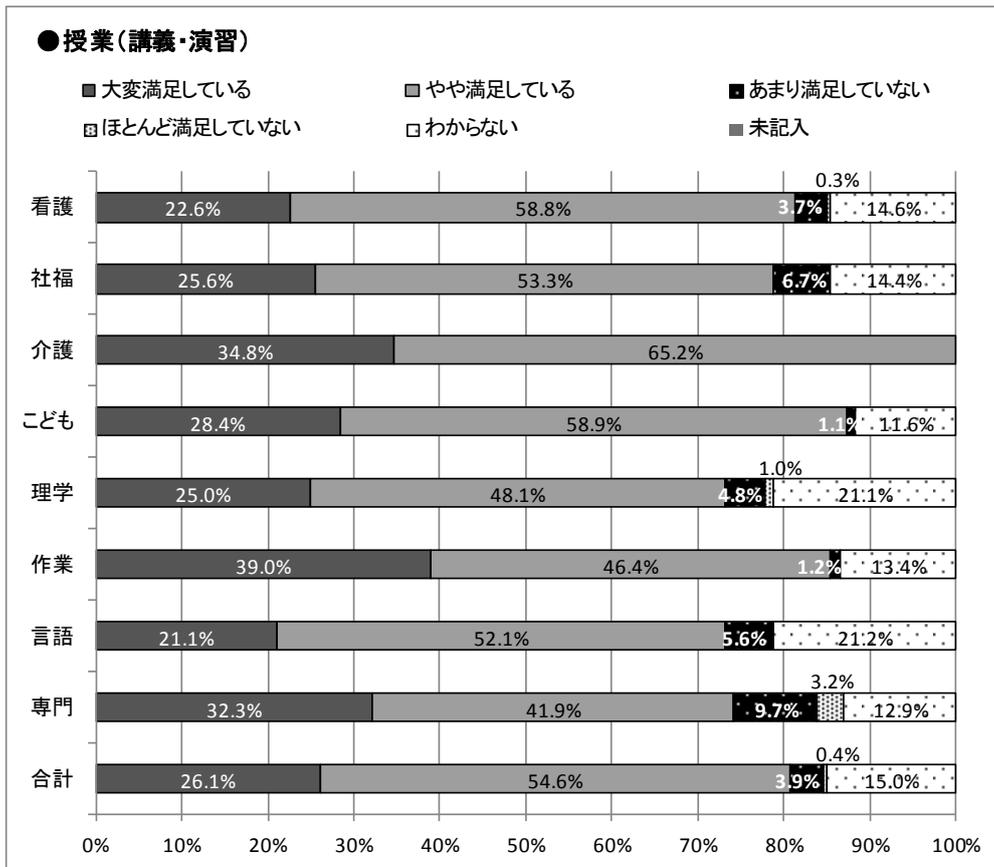
A=満足（大変満足している、やや満足している）

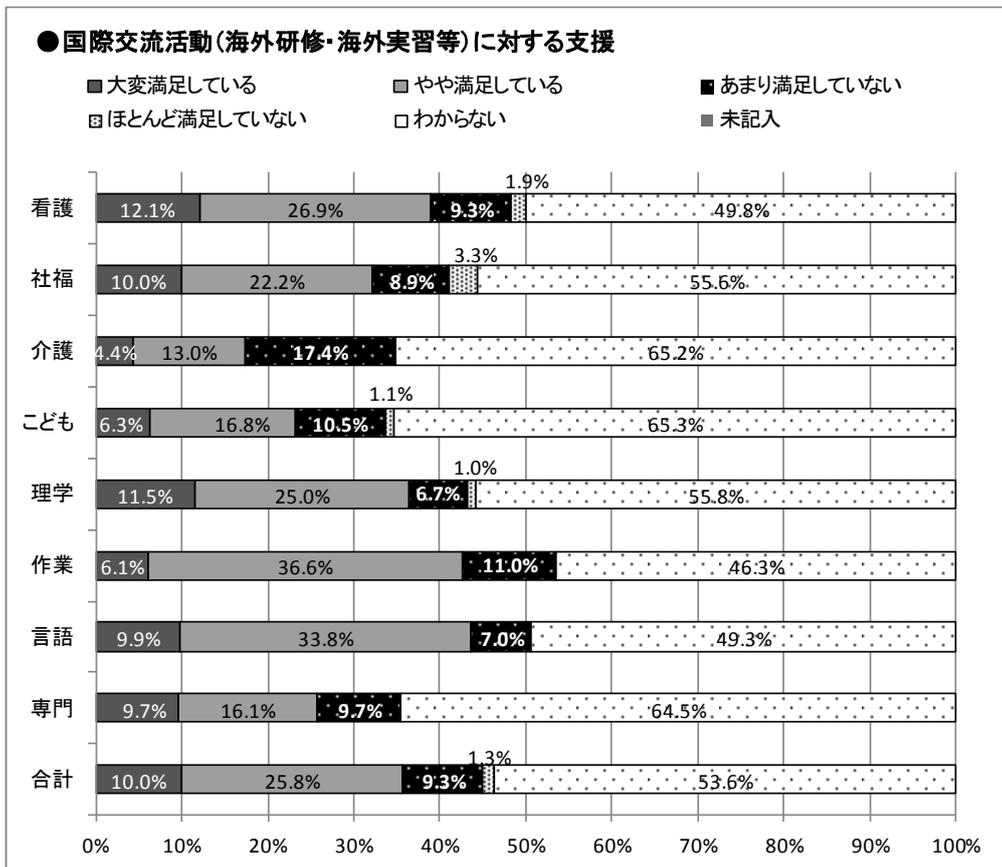
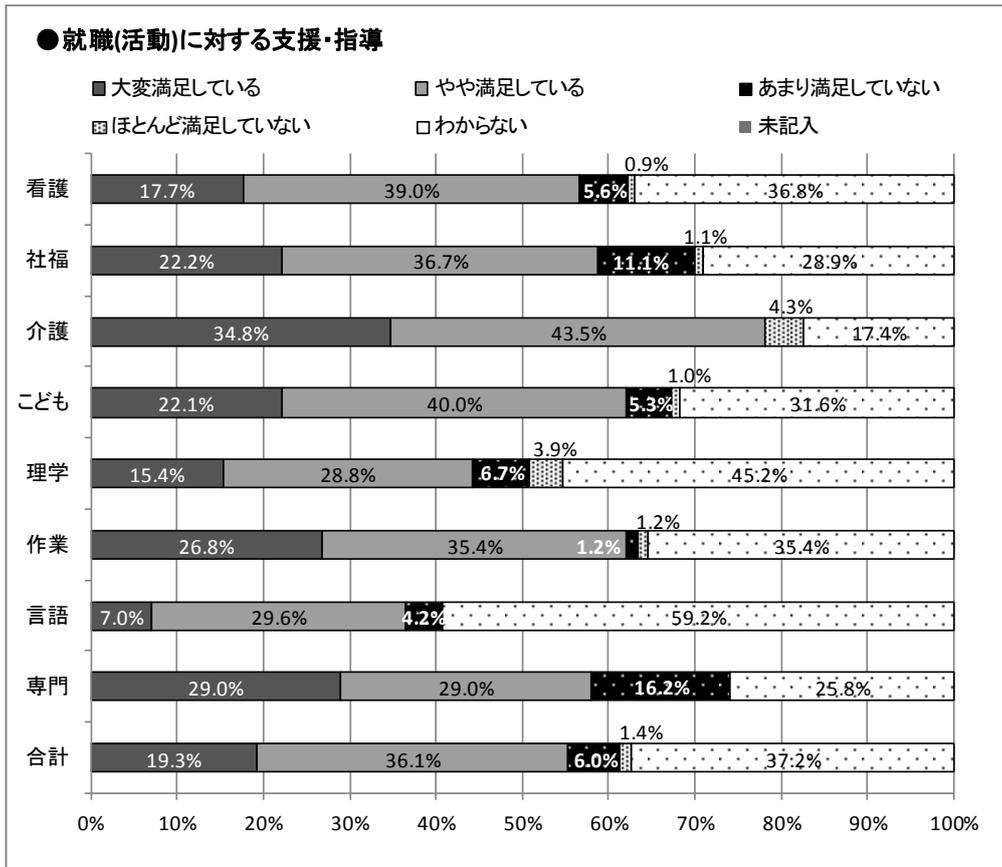
B=不満足（あまり満足していない、ほとんど満足していない）

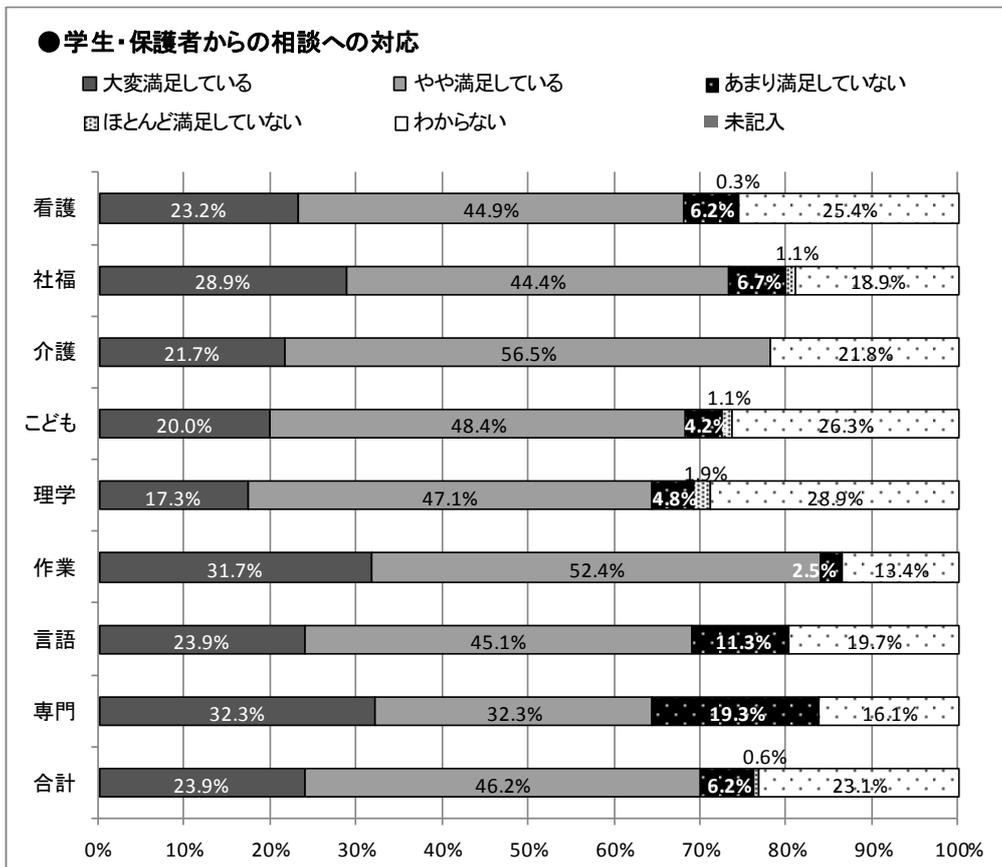
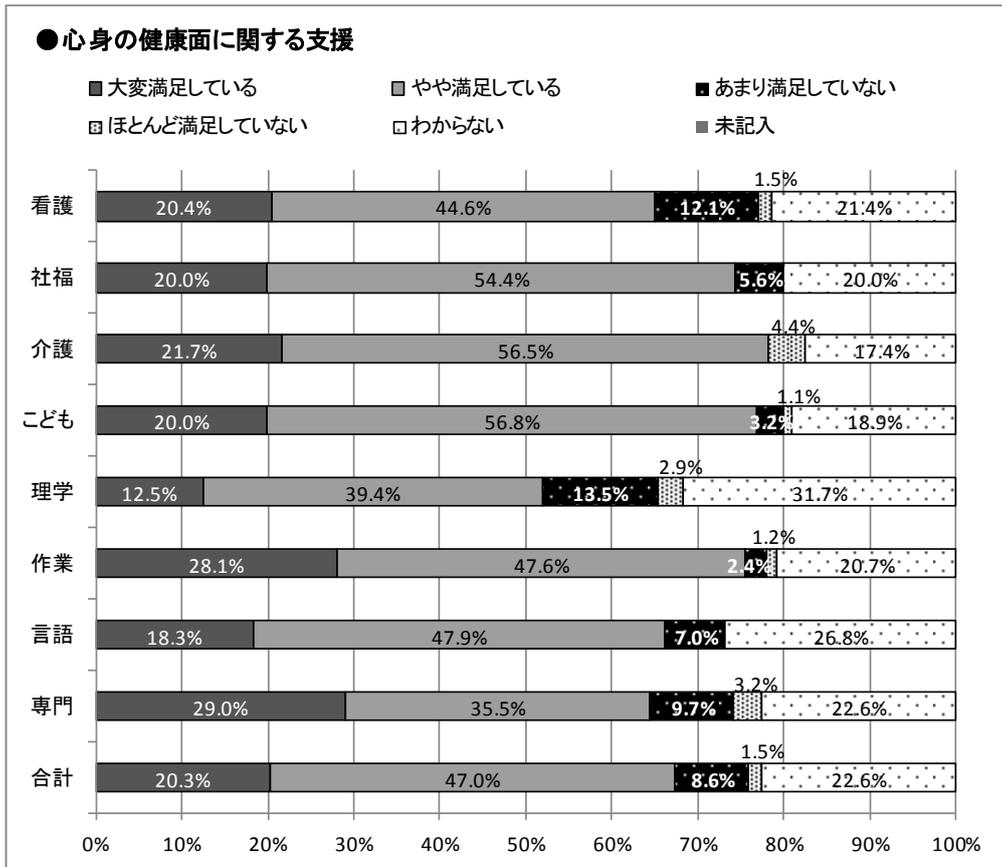
C=不明（わからない、未記入）

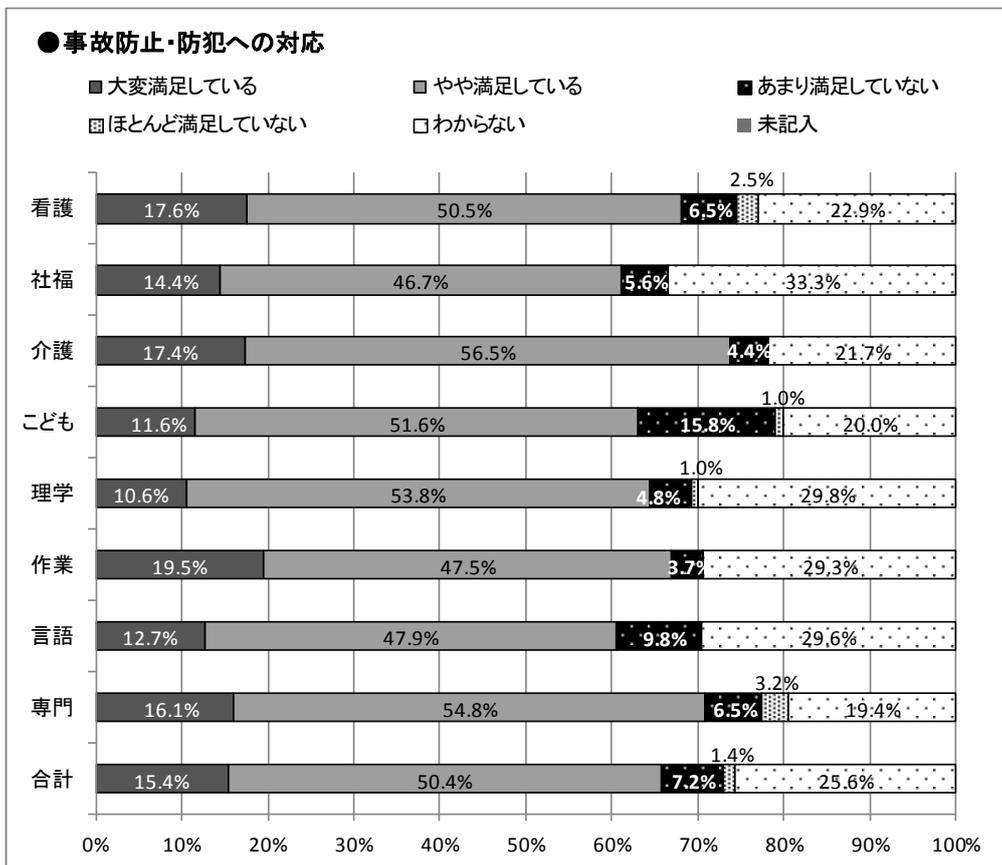
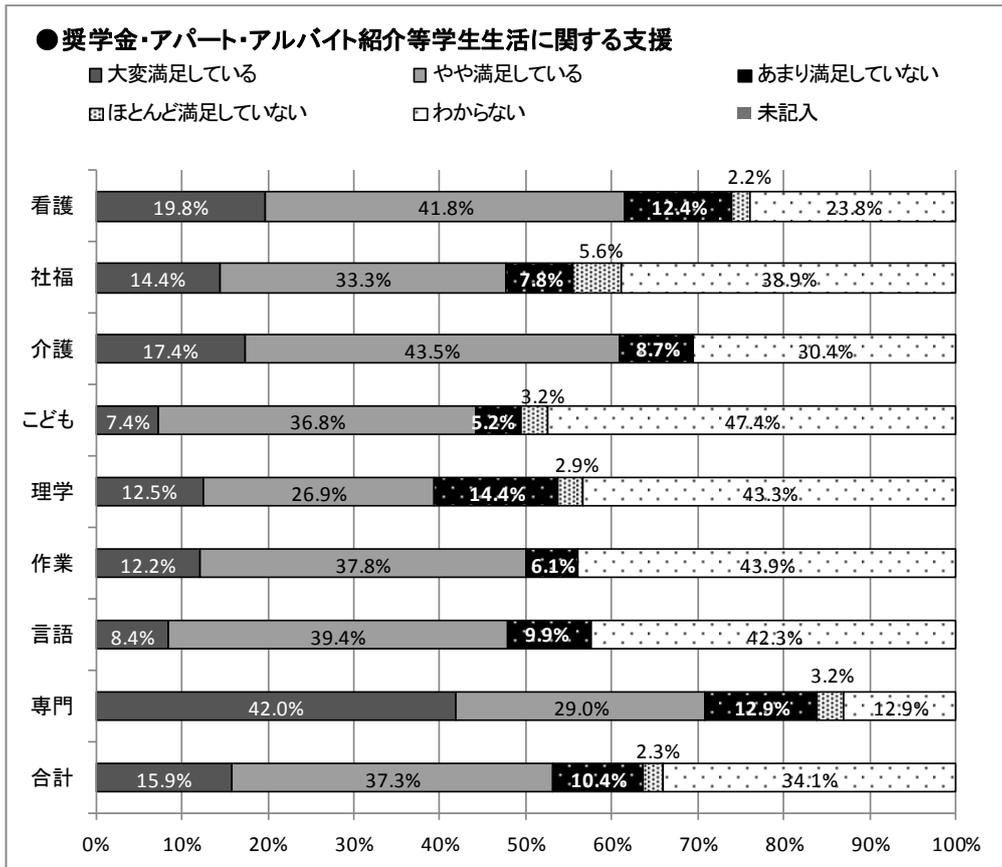
設問	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
総回答人数	424人	442人	457人	696人	761人	821人
(1) 授業（講義・演習）						
A 満足	73.8%	77.7%	78.6%	80.3%	82.8%	80.7%
B 不満足	7.8%	4.1%	5.9%	5.2%	2.6%	4.3%
C 不明	18.4%	18.2%	15.5%	14.5%	14.6%	15.0%
(2) 実習（学外の病院・福祉施設等での実習）						
A 満足	76.7%	79.5%	77.0%	78.4%	80.4%	93.8%
B 不満足	6.1%	5.7%	5.5%	7.3%	5.9%	3.0%
C 不明	17.2%	14.8%	17.5%	14.2%	13.7%	3.2%
(3) 就職（活動）に対する支援・指導						
A 満足	47.2%	49.8%	48.4%	50.9%	51.6%	55.3%
B 不満足	8.0%	9.3%	6.1%	5.9%	6.6%	7.3%
C 不明	44.8%	40.7%	45.5%	43.2%	41.8%	37.4%
(4) 国際交流活動（海外研修・海外総合評価等）に対する支援						
A 満足	29.5%	30.7%	32.2%	32.5%	34.4%	35.7%
B 不満足	9.0%	8.0%	7.7%	8.8%	9.5%	10.6%
C 不明	61.6%	61.4%	60.2%	58.8%	56.1%	53.7%
(5) 心身の健康面に関する支援						
A 満足	61.3%	64.8%	64.8%	65.2%	68.9%	67.1%
B 不満足	8.5%	10.2%	10.5%	7.8%	7.6%	10.1%
C 不明	30.2%	25.0%	24.7%	27.0%	23.5%	22.8%
(6) 学生・保護者からの相談への対応						
A 満足	59.7%	64.8%	64.1%	64.8%	66.4%	70.0%
B 不満足	8.3%	7.7%	8.8%	7.5%	6.8%	6.8%
C 不明	32.1%	27.5%	27.1%	27.7%	26.8%	23.2%
(7) 奨学金・アパート・アルバイト紹介等学生生活に関する支援						
A 満足	55.9%	58.9%	60.0%	54.9%	52.6%	53.2%
B 不満足	10.4%	10.0%	8.3%	10.2%	10.7%	12.7%
C 不明	33.7%	31.1%	31.7%	34.9%	36.7%	34.1%
(8) 事故防止・防犯への対応						
A 満足	56.4%	58.0%	61.1%	53.6%	61.5%	65.7%
B 不満足	10.6%	13.9%	10.7%	10.6%	9.5%	8.6%
C 不明	33.0%	28.2%	28.2%	34.3%	29.0%	25.7%
(9) 教員の学生への接し方						
A 満足	69.8%	70.0%	72.4%	76.4%	75.3%	78.3%
B 不満足	10.4%	9.8%	7.9%	6.2%	6.6%	6.0%
C 不明	19.8%	20.0%	19.7%	17.4%	18.1%	15.7%
(10) 事務職員の学生への接し方						
A 満足	56.4%	63.0%	62.8%	57.2%	61.4%	63.0%
B 不満足	8.3%	8.2%	8.8%	11.5%	8.0%	8.4%
C 不明	35.4%	28.9%	28.4%	31.3%	30.6%	28.6%
(11) 本学の施設・設備						
A 満足	81.4%	82.0%	83.6%	82.8%	82.4%	84.2%
B 不満足	12.7%	10.2%	9.4%	9.5%	9.7%	9.1%
C 不明	5.9%	7.7%	7.0%	7.8%	7.9%	6.7%
(12) 保護者として知りたい情報は本学から十分提供されていますか						
A 満足	70.0%	78.0%	74.0%	74.3%	77.8%	78.0%
B 不満足	17.9%	15.9%	17.9%	14.8%	13.5%	12.9%
C 不明	12.0%	6.1%	8.1%	10.9%	8.7%	9.1%
(13) 本学に対する総合評価（進学させてよかったかどうか）						
A 満足	90.3%	92.0%	91.9%	91.5%	93.2%	93.7%
B 不満足	3.1%	4.1%	4.4%	3.3%	2.6%	3.1%
C 不明	6.6%	3.9%	3.7%	5.2%	4.2%	3.2%

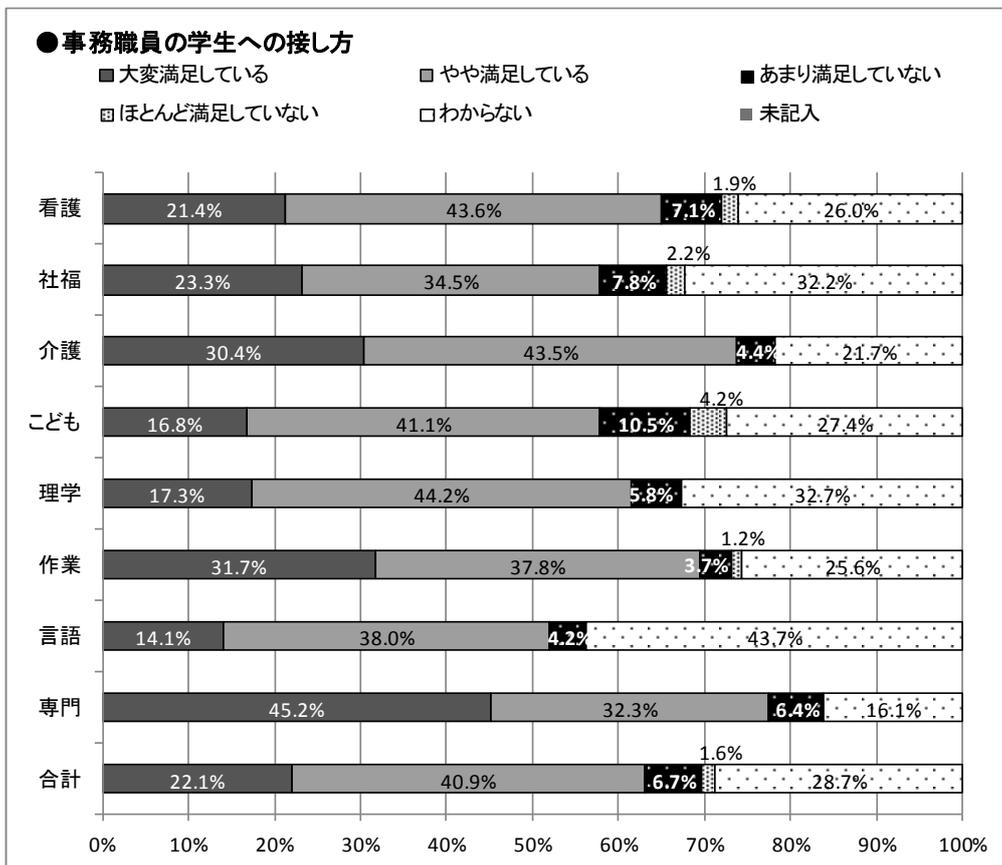
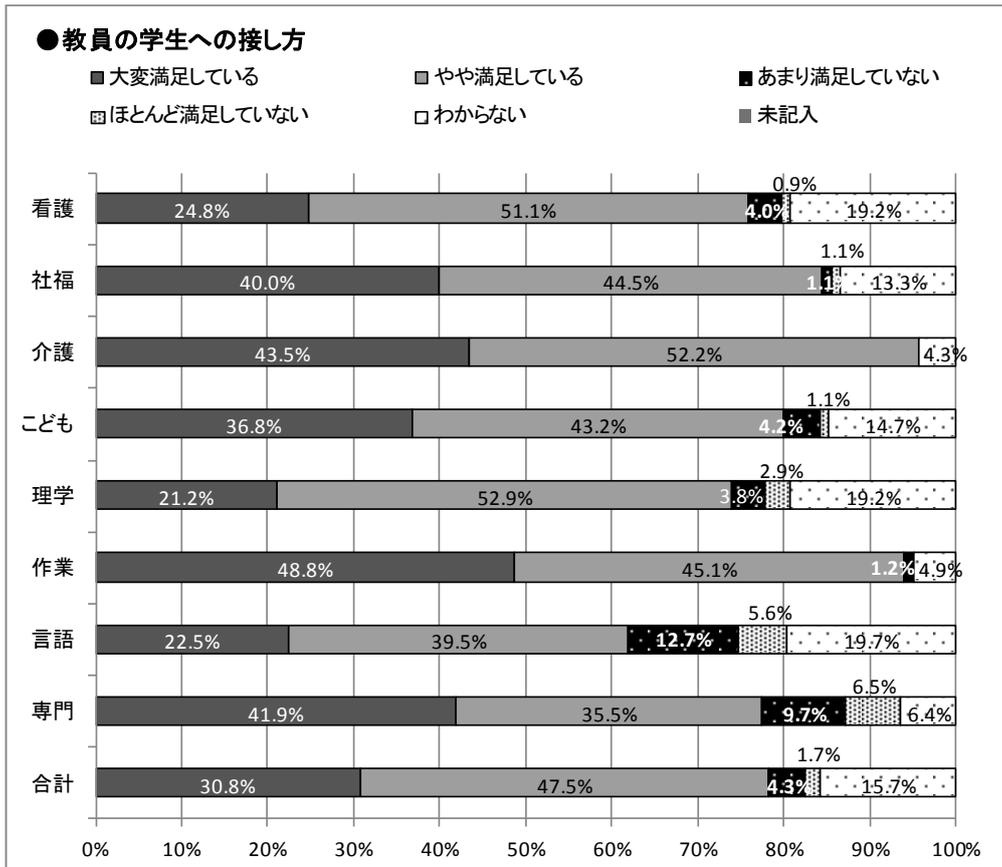
問. 大学の教育や学生生活等の支援について保護者として満足していますか。

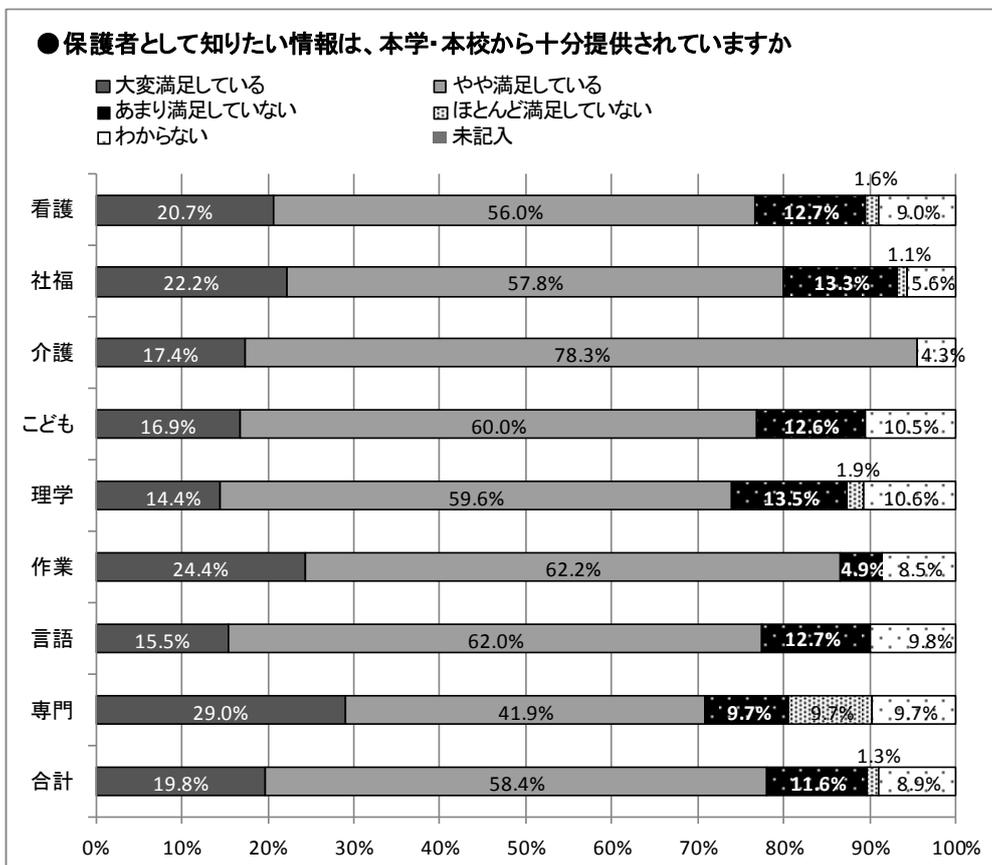
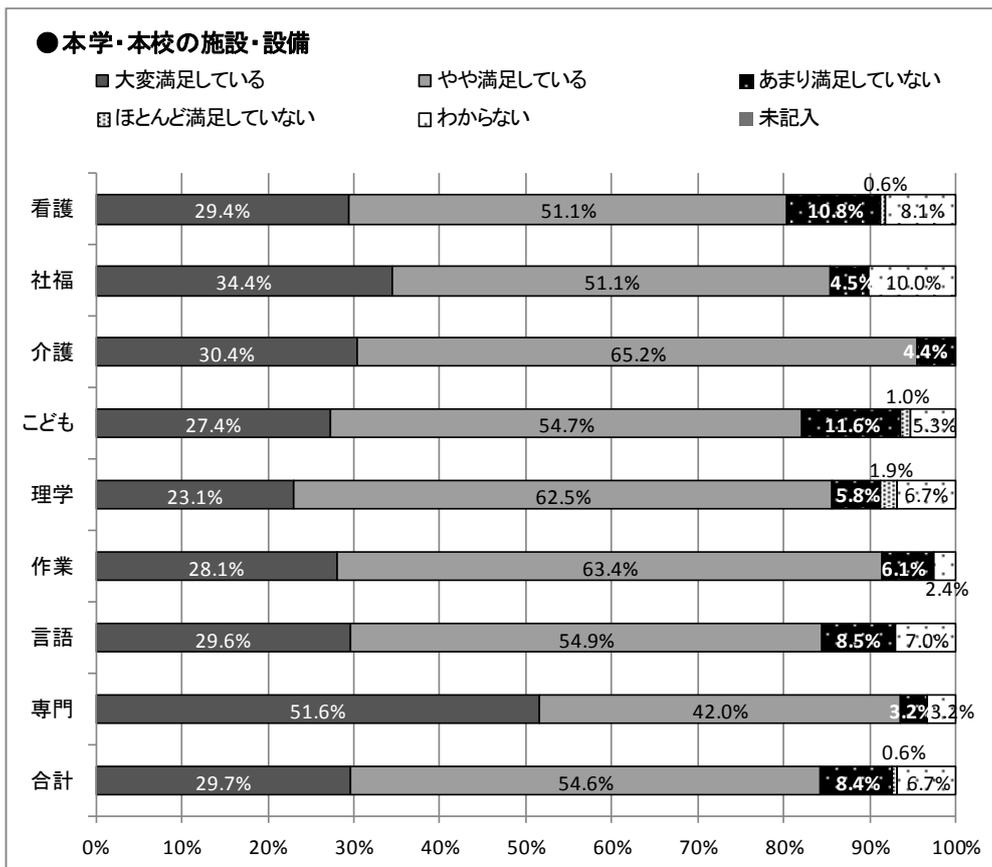


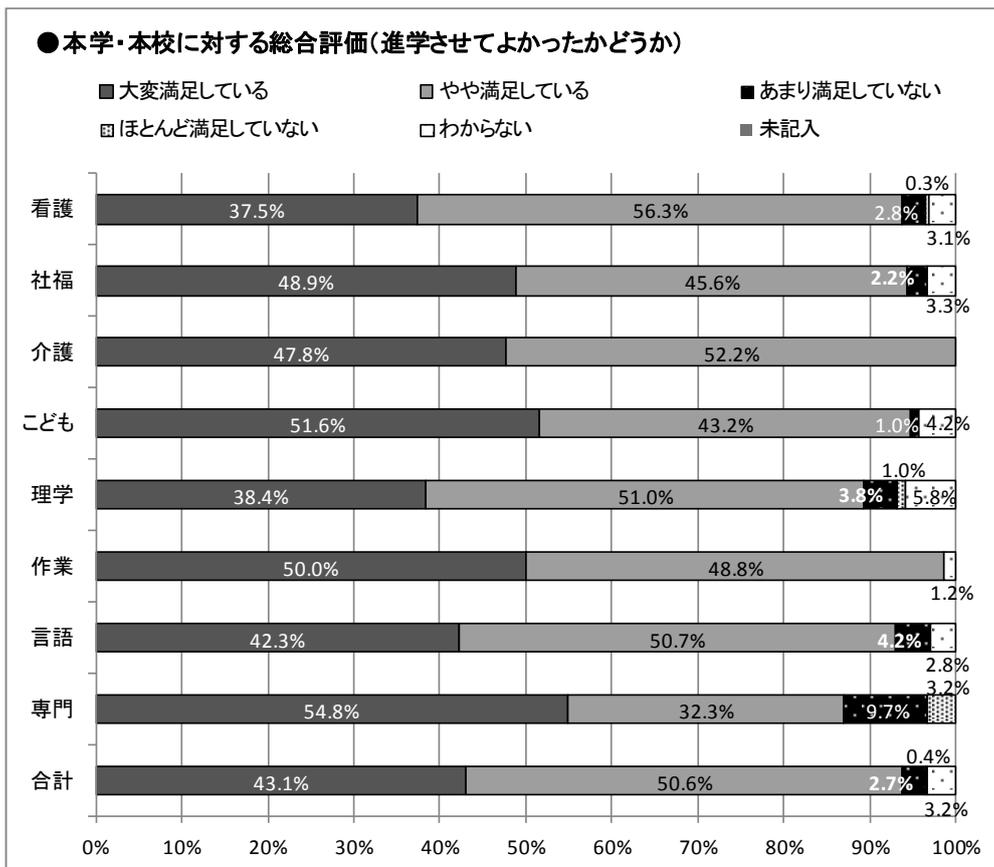




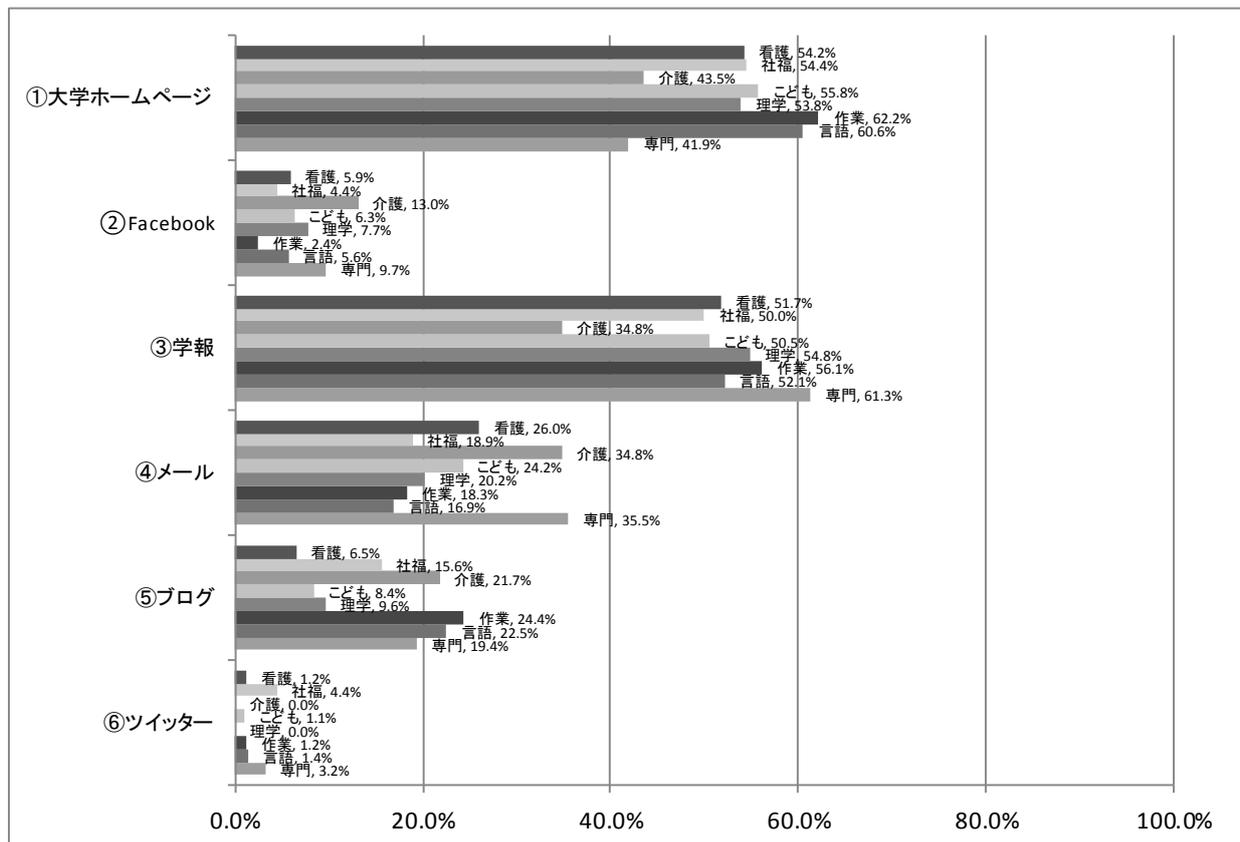




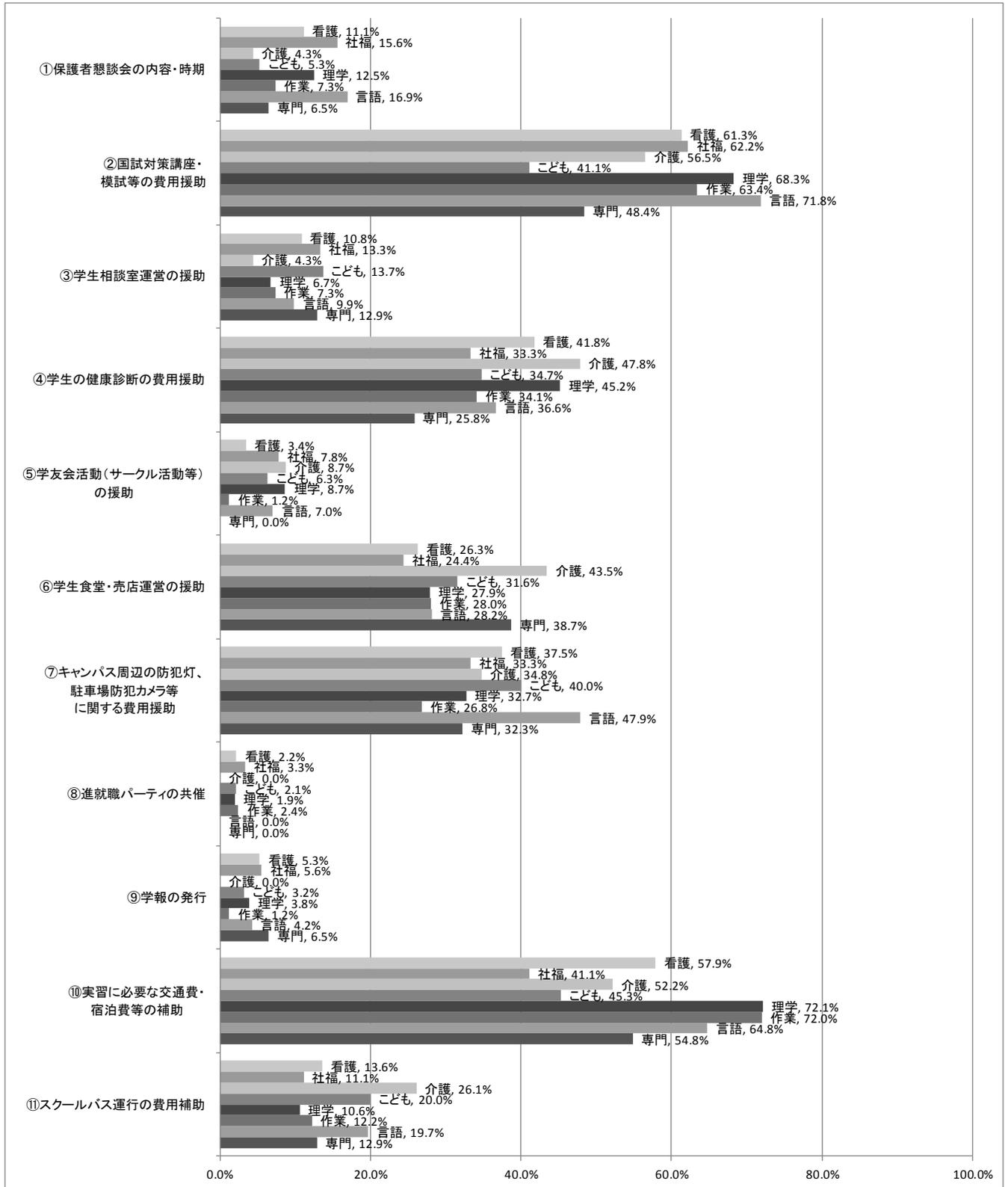




問. 大学から発信される情報を得るのに利用しやすい手段はなんですか。(複数回答可)



問. 本学後援会では下記の事業を行っています(行う予定でいます)が、より充実させてほしいことは何ですか。
(複数回答可)



2017年度保護者満足度調査自由記述と質問への回答

2017年度保護者満足度調査に多くのご質問・ご要望をお寄せいただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただきましたご意見・ご要望に個々に回答できませんが、[質問・要望に対する回答]として次ページ以降に回答させていただきます。

また、自由記述に本学の教育等に対して好意的なコメントもいただきましたので一部ですが下記にご紹介いたします。

今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

[自由記述の一部の紹介] ※学年は2017年度時点

- ・1年次から実習があることに驚きましたが、1年次から、卒業後看護師として働いている自分の姿を想像している様子をうかがえて、学生のうちから心構えを持ててよいと思います。〔看護学部/1年次生〕
- ・保護者懇談会で個別面談をしていただきました。アドバイザーの先生は学生のお話をよく聞いてくださっていると感じました。病院でのアルバイトのことや、将来の希望についてもよくご存知で、その時その時に適切なアドバイスが受けられると安心しています。〔看護学部/1年次生〕
- ・実習先等施設に恵まれている為とても充実していると思う。（少人数ずつのグループに分かれている為先生の手厚い教育が受けられていると思う）〔看護学部/2年次生〕
- ・講義で聞いて勉強した知識を家族に話し、健康や食品に対してアドバイスしてくれるようになりました。〔看護学部/2年次生〕
- ・海外の現場を見たことで日本と違い、意見をハッキリ主張する経験が実習でとても活かせ、褒めて頂けるという良い結果になったこと。またホストファミリーになるということで、家族にもいい刺激があり、良い経験をさせて頂きました。引率の先生方とも一歩も二歩も近づくことが出来、一緒に行った仲間は勿論、先生方と今でも仲良くさせて頂けることが一番の収穫だったと聞いております。〔看護学部/3年次生〕
- ・先生方の熱心なご指導と切磋琢磨出来る仲間にも恵まれ、4年間充実した学生生活を送ることができたと思います。関わってくださったすべての方々のお陰です。本当にありがとうございました。〔看護学部/4年次生〕
- ・自宅での生活や考え方を聞いていると1年生の時にはなかった成長が感じられました。具体的には、祖母が介護生活を送る事になった時に、高齢となった祖母をどのように最後まで看るかという事まで考え子供は発言していました。その時に、この4年間の成長を感じることができ、先生方の指導や学びのおかげだと思いました。ありがとうございます。〔看護学部/4年次生〕
- ・講義の様子や講義内容等、家庭で話を聞く限り、充実した学習内容や先生方の指導もよく、楽しくやりがいをもって通学している様子が伺えます。〔社会福祉学部社会福祉学科/2年次生〕
- ・アルバイトを決めるとき、学校でのアルバイト紹介で求人を見て相談にのってもらったとのこと。聖隷グループの施設でアルバイトをさせて頂き、親としても安心でした。〔社会福祉学部社会福祉学科/3年次生〕

- ・演習を行う為の設備がしっかり整っており安心しております。入浴設備にしても 胃瘻及び吸引の演習についても 夏の説明会の際 見学させていただき 安心しております。〔社会福祉学部介護福祉学科/2 年次生〕
- ・先生方の学生一人ひとりへの接し方がとても温かく、子どもを通じて熱心さを感じることができました。〔社会福祉学部介護福祉学科/4 年次生〕
- ・高校生の時、学校が楽しいと言ったことがなく、3 年間通うのに必死でしたが、今は学校がとても楽しいと話してくれるので親としてはうれしいです。ブログをいつも見えています。写真に写っているのを見つけると、「ちゃんと学校に行っているんだな」と安心します。祖父母も「がんばっているんだね」と喜んでます。ありがとうございます。〔社会福祉学部こども教育福祉学科/1 年次生〕
- ・2 年生の時、シンガポール研修に参加させていただき、その後ホームステイ（我が家）の受け入れもさせていただきました。海外への興味とグローバルな思考が身につく、現在でもメールなどで交流があります。〔社会福祉学部こども教育福祉学科/4 年次生〕
- ・自宅から電車とバスで約 2 時間近くかけて通っていますが、同級生はもちろんのこと、先輩やゼミの先生からもよく声を掛けていただいているようで、勉強は大変だけどとてもやりがいがある学校だよと、本人もよく話しています。〔リハビリテーション学部理学療法学科/1 年次生〕
- ・駐車場を新設していただいだけ、車で通学できるようになりましたので良かったと思います。図書館は土曜日にも開いているということで、ありがたいです。〔リハビリテーション学部理学療法学科/4 年次生〕
- ・正・副 両アドバイザーの先生の親身なご指導にはいつも感謝しております。勉強での疑問や悩みなど、いろいろと相談に乗っていただいているようです。〔リハビリテーション学部作業療法学科/3 年次生〕
- ・実技的なことはもちろん必要と思いますが、娘の話を聞いていると、作業療法士としての本当に大切な理念、考え方を先生方から受け取っているように感じます。入学して、ますます作業療法士の仕事に魅力とやりがいを感じている娘をみると、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。〔リハビリテーション学部作業療法学科/4 年次生〕
- ・二年生ですが、入学した当時の情熱を失うことなく目標へ向かっています。先生方のモチベーションを維持させるような授業内容が良いのだと思います。〔リハビリテーション学部言語聴覚学科/2 年次生〕
- ・アパートで一人暮らしなので体調を悪くしたと聞くと心配ですが、症状に合った病院を紹介していただいているようで、ありがたいと思います。〔リハビリテーション学部言語聴覚学科/3 年次生〕
- ・楽しく学校に通っています。TV や生活の中に授業で学んだことが出ると、「この前これ習った。～なんだよ！」など、いろいろな話をしてくれます。日々成長を感じます。〔介護福祉専門学校/1 年次生〕
- ・毎日の礼拝でお話が聴けることが本人にとってとても良い心の勉強になっているようです。ありがたく思っています。また、休み時間等に先生から声をかけていただいているようで話しやすいと言っています。先生との距離が近いので安心です。〔介護福祉専門学校/2 年次生〕

[質問・要望に対する回答]

I. 学部・学科・専門学校

【看護学部】

1) 授業（講義・演習）

（質問） 授業のスピードが早く、ノートを取るだけで精一杯の教科もあるようです。理解できていない部分を放課後や空いている時間に気軽に質問できるような雰囲気があるとありがたいと思います。

（回答） 1年生は大学の授業に慣れていませんので、授業のスピードについて行けなくなる時があります。しかし、事前学習や事後学修を行う中で疑問が解決し、理解され、知識が整理されていくものと思います。本学では全ての教員が、オフィスアワーという学生の質問に対応する時間を設けています。授業で聞き逃してしまったことや疑問に思ったこと等はオフィスアワーを積極的に活用し解決してください。

（質問） 講義が分からないところがあっても質問しにくいようです。アドバイザーの先生にも話しかけにくいのか、遠慮をしているのか相談できないと言っています。

（回答） 学部として、アドバイザー教員には学生が相談に来やすい雰囲気作り、環境作りを心がけるように指導しています。1年次生は学修だけでなく、日々の学生生活の不安も多々あると思いますので、一人で悩まずに、是非これらの制度を利用していただきたいと思います。アドバイザー教員以外の教員も相談にのることができます。

（質問） 講義中に無駄話や私語が多いとよく聞いています。

（回答） 私語は、教員の授業の工夫等により、年々減少してきています。今後も、初回授業の時に授業での私語や遅刻、スマートフォンなどを含めた受講マナーについて学生に注意を促し、教員と学生が共に協力してより良い授業環境を目指します。また、他学部との情報交換も適宜行いながら、大学全体が授業中の私語を含めた受講マナーの改善に尽力していきます。

（質問） 教員によって理解が難しい授業、演習はフィジカルアセスメントなどの指導方法に差があり、実技試験などにも患者になる生徒によっては不公平がかなりあるように思います。

（回答） 学生に分かりにくい所がないか質問し、理解しやすい授業を目指していきます。授業や演習では教員によって指導に差が出ないよう、指導方法を工夫していきます。実技試験について採点基準の統一や患者役に人型のシミュレーターを活用するなど不公平のないよう努めていますが、よりいっそう公平・公正な環境となるよう改善します。

2) 臨地実習

（質問） 実習後のレポートの量が適切なものかどうか。適正なレポートの掌握をお願いします。

（回答） 臨地で得られた患者様の情報から病状を正しく判断し、必要な看護を計画するための記録の量については、担当患者の状況、目標達成レベル等によって異なります。記録は、患者様の病状・生活等を分析し必要な看護内容を思考・判断するために必要なツールですので、教員は学生個々の理解状況の把握に努め丁寧に対応していきます。課題への取り組みに困難を感じた場合には、教員に相談するようにしてください。

(質問) 先生によっては(学生に)睡眠時間を削らせて実習中の課題をさせるらしいと聞きました。実習は健康第一ではないでしょうか。

(回答) 担当患者の状況変化にあわせて必要な看護を実施するため、病状理解の観点等から一時期に学習量が増す場合があります、学生にとっては睡眠時間を削らないと達成できないと感じることがあるかもしれません。しかし看護側が健康であることが患者様から信頼を得る第一です。自己の健康管理に取り組みつつ、必要な課題について重要な内容から計画的に一つ一つ達成していく学習方法を、ぜひ教員と相談しながら進めてください。

(質問) 実習指導者にもさまざまな方がいて、(学生に)何も声をかけてくれない方もいると聞いています。

(回答) 臨地では、患者様の生命や生活を守るために正確な知識や厳密な看護技術を求められ、学生に対する指摘が厳しくなったり、患者の病態変化によって学生の質問にすぐに答えることができず無視されているような印象を受ける場合があると思われます。学生には、なぜそのような指摘をしたのか、どんな状況が生じたのかが伝わるような説明や表現を心掛けるよう、臨地との連携・調整を強めていきます。

(質問) 基礎看護学実習の配置・交通手段について。実習先が自宅から遠く、受け入れ先の病院に行く際に苦勞していた様子。自転車通学者に関して、優先的に近隣の病院を割り付ける等の配慮をお願いしたいです。

(回答) 学生の方々は、実習で多くの学びがある反面、非常に緊張することも理解しております。そのため、実習病院については、夏休み前に居住地調査をしております。150名を超える学生が公平に配置できるよう最も困難な実習先を避ける方法で実習場所を決定しております。調査用紙を期日までに提出されない場合でも、教員から事情を聴くような配慮をしております。今後もなお一層配慮に努めていきます。

3) 教員

(質問) チューターの教員があまり熱心ではなく相談できる環境ではないと思います。他生徒のチューターは、親身になってくれる話を聞くと辛くなることもあるようです。

(回答) 個別面談の実施(年2回)、オフィスアワーの掲示(Webと掲示板)などを徹底し、教員全員が学生を支援する体制を強化していくよう、教員に周知していきます。

(質問) もう少し、相談しやすい先生に当たればよいと思うことがあります。4年間同じアドバイザーで困る学生もいると思います。

(回答) 2018年度にアドバイザーグループの現状を振り返ります。今後の支援体制が良くなるように学生委員会を中心に議論していきます。

(質問) 教員の男子学生への言葉遣いが気になりました。

(回答) 一部の教員だと思いますが、ご不快な思いをさせ申し訳ありませんでした。学生に対し、教育者、指導者として適切に対応できるよう教員同士で振り返り不適切な対応とならないよう努めて参ります。

4) 保健師課程

(質問) 実習先が慣れない場所での実習に加え宿泊も伴うのは、学生にとって負担です。本人の希望を聞いて、交通手段も大変な場合は、タクシー券など、交通の面においても援助をしていただけると親としても安心です。

(回答) 公衆衛生看護学実習(保健師課程)の実習先は、実習の特性上どうしても遠方の市町となる場合があります。学生の住所や実家の住所を事前に調査して、考慮していますが、全員、居住地に近い場所の実習場になることは難しい状況です。どうしても交通手段がない場合等、教員と相談してタクシーの利用も認めています。

(質問) 実習で、訪問先にいくのに、車の乗り合わせはやめてほしいです。

(回答) 公衆衛生看護学実習の実習では、保健師さんと一緒に家庭訪問に行く時に、保健師さんの車に同乗させて頂いて訪問に行くことがあります。車を持たない学生には、公共の交通機関を使うように勧めます。また、公共の交通機関で時間が非常にかかる場合は、大学が選んだ宿泊場所への宿泊を勧めています。

(質問) 保健師課程をとるか迷っていたが、とるようにし、教科書も購入してから先生のお話の中でとらない選択もあると聞き、やめることになり、教科書もそのままです。もっと早くその話を聞きたかったです。

(回答) 保健師課程選択のガイダンスは、入学時、2年生4月、選択科目が始まる前の2年生の7月に時間をとって実施しています。選択した場合でも辞めることができます。また、3年生のガイダンスも数回行っていきます。個別相談も常に行っていますので、ご活用いただければと思います。

5) 国家試験対策

(質問) 国試講座が強制的に思えます。

国試合格に向けて環境を整え指導をお願いしたいと思います。

国試対策の外部講師を招いているのは、4年間の学びでの合格が難しいからでしょうか。

(回答) 国家試験対策における外部講師の有料講座を受講しなくても学生は国家試験に合格しており、学生には自己判断で受講するように伝えていきます。看護師国家試験に向けて大学ではガイダンスを9回行い、また学生ごとに担当教員を決めて個別の学習指導やメンタルサポートをしています。他には教員作成の模擬試験を10回以上、業者の模擬試験を5回程度、教員による勉強会を15回以上行うなど多様な国家試験対策を実施しています。

【社会福祉学部】

●社会福祉学科

1) 授業（講義・演習）

（質問） どの大学も同じとは聞いていますが、1コマだけの日が1、2日あったり、授業のない時間が多いと感じます。4年間がもったいなく感じます。

（回答） 他学科の科目の配置状況、非常勤講師の対応可能時間の制限などにより、社会福祉学科の時間割で特に空きコマが出現することがあります。

これに対しては学生に丁寧に説明するとともに、その時間の活用の仕方（図書館やラーニングコモンズを活用しての事前・事後学習、近隣施設での短時間のボランティア活動）を提示するなど、有効に活用するよう指導いたします。

（質問） 授業中の私語、スマートフォン捜査等、マナーというよりもモラルのない生徒が多いと聞いております。入学式での親御さんたちを見ておりますので、学校側の問題ではない気もしますが…。4年後も同じ回答をしなくて済むように祈ります。

（回答） 授業マナーについては各セメスターの初回授業で説明し、授業中もその都度注意するよう教員間での意思統一をはかっていますが、再度確認いたします。

また該当する学生については、アドバイザーとの面談をとおして改善がはかれるよう支援いたします。

2) 臨地実習

（質問） 1年生で校外学習に行っていましたがもっと回を重ね学んでほしいです。

（回答） 社会福祉学科では、学科独自の实習として1年次にインターンシップ入門、2年次にインターンシップIを設定しています。特に2年次のインターンシップIでは、毎週1回（半日）10週間にわたり近隣施設で実習を行い、翌日実習指導の授業で振り返り学習を行っており、学生が一段と成長する機会となっています。これ以上に実習を希望される場合は、福祉実習も履修可能です。

●介護福祉学科

1) 臨地実習

（質問） 夏休みの23日間の施設実習時、1年次は5日間ほどの実習であり、2年次は日数も多くなったことで、体力的、精神的にダメージを受けたのか、帰宅後も無口になったり涙もろくなったりと、親として心配な日々でした。その後、十分休むこともなく後期日程が開始されました。もう少し余裕を持った実習日程であって欲しかったです。しかし、その実習を終えたことで自分の進みたい進路が決まったようです。

（回答） 春セメスター定期試験後から秋セメスター開始までの50日間に実習を23日組んでいます。夏季休業や再試験日程があるため、余裕がないのもご指摘の通りです。時間的な考慮が出来ない分、心理的なサポートを丁寧に心がけていきます。また通学時間を限りなく短くするよう、自宅近隣の実習先を開拓するなどの細やかな配属を工夫していきます。

2) 就職関係

(質問) 就職に関して卒業生の話聞く機会があるようだが、聖隷グループや公務員だけでなく 他の地域(場所)に介護職として就職した人の話が聞けるといいと思う。

(回答) 社会福祉学部として、大規模法人以外にも、様々な情報提供の機会を設けております。また、学科教員で連携し、ゼミ担当以外の教員も就職支援を行っております。しかしながら、このような情報が保護者の皆様に十分届いていないことを認識できましたので、今後、保護者ガイダンス等でご説明・配布させて頂く資料等の改善をして参りたいと思います。

●こども教育福祉学科

1) 就職関係

(質問) 聖隷福祉事業団第1回就職試験日が幼稚園実習期間であった為、2回目の試験日程で受験をした。実習期間の検討をお願いしたい。

(回答) 聖隷福祉事業団はあらかじめ本学の実習日程を承知しており、終了後に試験日を設定していません。試験は先の日程が有利ということはありません。学生には実習開始前にエントリーシート等、準備をし、ゆとりをもって受験するように指導・支援をしております。就職試験に関しても保護者懇談会等で説明をさせていただきます。

【リハビリテーション学部】

●理学療法学科

1) 臨地実習

(質問) ・実習先をどのように決めているのかを知りたいです。
・公共交通機関で行くとなっているが場所によっては車を許可してほしい。
・実習に必要な交通費など補助等があれば大変助かりましたが、残念です。
・同じ実習地に二回行く、居住地を重視しすぎで選択された感が強い。

(回答) 臨床実習の学生配置は、学生や家族の費用および心身の負担を最小限にできるよう、科目責任者やアドバイザーが原案を作成し、学科会議で何度も検討しております。通学方法は、実習病院・施設の意向も伺いながら検討しています。ご指摘については真摯に受け止めるとともに、学生には臨床実習前のオリエンテーションで、保護者の皆さまには保護者懇談会で丁寧に説明をさせていただきます。

(質問) ・実習終了後の事後報告会等の日程など予定もわかっているものはできるだけ早めに連絡してやってください。
・学校から実習施設への実習内容説明が不十分で戸惑ってしまったようです。宿泊手続きにも落ち度があり、引っ越しの際はかなりバタバタしました。

(回答) 臨床実習前のオリエンテーションにおいて、実習終了後の資料の提出、症例報告、口頭試問が行われることを周知し、学生は担当教員と調整するようにしています。臨床実習後のスケジュールは早めに説明するようにいたします。また、臨床実習の内容は臨床実習指導者会議で説明しております。ご指摘については真摯に受け止め、改善に努めてまいります。

3) 教員

(質問) 実習や口頭試問等で精神的に追い詰められて心を病む子が何人かいるようです。自ら発信しないとわかりづらいたと思いますが、何か相談しやすくなる手段を検討していただきたいです。

(回答) 各学年には主・副アドバイザーの2名が担当し、またクラスを小グループに分け、それぞれ担当教員がついて学修指導を行っております。また、学生の家庭での生活状況で気になることがありましたら、遠慮なく学科教員に相談してください。ご指摘については真摯に受け止め、建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づく学生生活と学習の指導を行うように進めてまいります。

4) 就職関係

(質問) 保護者懇談会時に就職活動への取り組みについてもう少し具体的に説明していただきたい。

(回答) 保護者懇談会では、低学年から就職活動の取り組みについて具体的に説明するようにいたします。就職試験の一次試験で知識面が問われることが多く、低学年からの知識の積み上げが必要です。学科では丁寧に就職支援を進めてまいります。保護者様のご理解とご支援もお願いいたします。

(質問) ・最初の就職試験の結果が出るまで、次の就職希望先の受験を申し込むことができないため、就職先が限定されてしまいます。結果が出る前であってもせめて次の申し込みができるよう、ご配慮いただきたい。

・何故、本人の希望するところを受けさせてもらえないのか。

(回答) 医療職では、同時に複数の就職試験を受けたり、就職試験の結果が出る前に他の病院・施設にエントリーしたりすることができません。そのため、就職活動では学生の希望を聞き、保護者とよく話し合うように促し、試験を受ける病院・施設を絞り、試験日程などを考慮しつつ優先順位を決めています。ご指摘について真摯に受け止め、より実りある就職活動につながるよう指導してまいります。

●作業療法学科

1) 臨地実習

(質問) 実習の際の金銭的負担を減らしてほしいです。

(回答) 費用負担に関しましては宿泊施設を利用する実費の1/2について、宿泊施設利用の有無に関わりなく、全員が均等負担とさせて頂いておりますが、保護者様のご負担が軽減できるよう、近隣での実習先を増やす努力しております。また学生の実習先の配置ですが、学生自身の特性、実習地の特性を考慮して、科目担当者を中心に協議を重ね、個々の学生にとって最も適した実習となるよう配置しております。ご理解とご協力を頂きたく、よろしくお願いたします。

2) 就職関係

(質問) 就職試験を受けるなどの情報が、教員から他の学生に話されたり、他の学生のいるところで話されたりすることがあり、不信感がわきました。個人情報の取り扱いに注意してほしいです。

(回答) 学生の個人情報については、学科教員個々に留意しながら教育指導にあたっております。ご指摘のように学生個々の個人情報はどのような状況でも守られる必要があります。教員間で学生の個人情報保護に対する重要性の認識を再確認し、取扱いについても再度検討をし、徹底を図ってまいります。

3) 教員

(質問) 学生からの相談事への対応が教員間であまり共有されていないように感じます(1年)。

(回答) 作業療法学科では会議等により、適宜、各教員が把握した学生の状況を共有する場を設けております。共有機会は徹底しておりますが、教員の共有意識を再度確認、徹底し、一層、学科教員が一丸となって個々の学生に親身に対応できるよう尽力してまいります。また学科外教員との情報共有につきましては、その必要性を鑑みつつ、本人の了解も得たうえで行っていきます。

●言語聴覚学科

1) 授業(講義・演習)

(質問) アクティブラーニングの授業が多いため、子ども自身はもう少し講義主体の授業を増やしてほしいと思っているようです。

(回答) 大学での授業は、高校までの講義主体の授業と異なり、自分から学ぶ、授業内で学生同士で学び合い、そこから専門的知識を深める学びが増えていきます。1年次は、高校の授業から大学の授業への切り替え時期で、学生自身が戸惑うことが多いと思います。各自が学びやすいように、従来型の授業とアクティブラーニングでの授業のバランスを図りながら授業を進めていきたいと思っています。

2) 臨地実習

(質問) ・実習が不安だと言っています。国家試験も不安だそうです。不安に押し潰されそうな日々がこの先も続くので、”合格したら待っているいいこと”を教えてあげてほしいと思います。
・実習施設はどのように決めているのでしょうか。

(回答) 実習や国家試験に対する不安は誰もが持つでしょう。言語聴覚士の仕事の素晴らしさを授業で紹介したいと思います。また、現場で活躍している卒業生の講話を聴く機会もありますので、積極的に参加してみると良いと思います。実習先は実習の約1か月前に発表されます。事前に興味がある領域を個別に収集し、臨床実習のいずれかで経験ができるように設定をしています。また、3年次から4年次へと経時的に成長できるように、様々な領域を体験し将来の選択や視野が広がるようにもしています。

3) 教員

- (質問) ・先生方の対応が学生によって態度が異なるという印象を持っているようです。
・先生のアポイントメントに時間と日数がかかっているようです。

(回答) 実習や臨床現場で働くにあたって、学生ひとりひとりに応じた課題や目標があるために、学生によって対応が違っていると感じさせてしまったかもしれません。今後は、指導の意図を個々に伝え、学生が指導の意図を理解した上で指導をしていきます。

教員と相談をしたい場合は、まずは教員ごとにオフィスアワーが設定されていますので、その時間を利用してください。オフィスアワーではアポイントメントを取る必要はありません。まとまった時間が必要な場合は、まずメールでその旨を伝えていただければ調整できると思います。

4) 国家試験対策

- (質問) ・一番知りたいことは国家試験に関するのですが、一年生ということもあり子供も分かっていない様子です。
・4年次の国家試験前は、保護者の方の支えが必要と聞いていました。親としてやっていただいた方が良いことなどを教えて欲しいです。

(回答) 国家試験は1年次からの継続学修（積み上げ）が合格できる秘訣です。教員も授業の際に国家試験に出題されやすい用語を学生に伝えていきます。また、2017年9月より、Brain-Muscle Challenge という全学年共通テストを行い、各セメスター前に基礎知識の定着を図っています。長期休暇前のホームルーム等でも国家試験の課題を提示しております。4年生の国家試験対策が本格化する11月～2月は、学生も精神的に追い込まれます。ぜひ、心理的なサポートをお願いできればと思います。また、生活リズム、食事も大事になりますので、日々の様子を気にかけていただければ幸いです。

【介護福祉専門学校】

1) 授業（講義・演習）

- (質問) 真剣に授業に集中したいのに、他の学生の私語があるようでとても気になるそうです。何とかならないのでしょうか。

(回答) 学生が私語がなく、授業に積極的に参加できるような質の高い授業展開が行えるように教員の教授法の向上のための研修会を開きます。また私語を発する学生には適切に注意・指導を行い、授業に集中できる環境を作っていきます。

- (質問) 教員による教え方のバラつきを無くしてほしいです。

(回答) 教員間で話し合いの場を持つことや、分かりやすい授業を実践している教員の授業を参観したりしながら、教員の授業レベルが一定以上になるよう努力いたします。また授業後にとるリアクションペーパーから授業状況を教員間で共有し、改善していきます。

(質問) 授業というよりは、極端であるがテキスト教科書を使わず資料配ってサラサラ流れる説明で終わったと感じる内容の授業もある。資料の内容すら理解できない。社会福祉士と介護福祉士との区別で、「介護福祉士ならこの辺まで」などと若干の違和感があった。

(回答) 教員によりさまざまな授業スタイルがあります。教科書を使用しない場合でも、資料や説明により理解ができる授業となるよう、大学の教員も含め教員間で徹底していきます。

また、「介護福祉士ならこの辺で…」などの違和感のある発言が教員から発せられることのないように、教員間で意識の統一をしていきます。

II. 全学関係

1) 就職関係

(質問) 関東方面や静岡県東部への就職を希望していましたが就職支援のほとんどが静岡、愛知のもので就職に関する情報があまりなく不安でした。関東方面や静岡県東部の就職先をもっと厚く紹介して欲しいです。

(回答) 希望者や卒業生が多いことから、静岡や愛知が中心となっており、それ以外の地域を希望される方にとっては情報を得られる機会が相対的に少ないため申し訳なく思います。関東方面や静岡県東部の地域についても求人票は届いており、キャリア支援センターから情報提供を行っております。個別にサポートしていることを学生さんへ十分にお知らせしていきます。

(質問) まだ1・2年次なので就職支援の機会や就職の情報が少ないと思います。保護者にも情報の発信をお願いします。

(回答) 保護者の方は大学報、大学ホームページ内のキャリア支援センターホームページ、WEBキャリア支援センターで就職支援プログラムの様子や求人票（パスワードが必要なためお問い合わせください）がご覧いただけます。求人情報システム、メールマガジンに登録していただくと定期的に情報をお届けします。また「就職ガイドブック」抜粋版を同封しましたので、ご覧ください。

(質問) 就職に関して卒業生のお話を聞く機会があるようですが、聖隷グループや公務員だけでなく他の地域(場所)に介護職として就職した人の話が聞けるといいと思います。

(回答) 2017年度の介護職は聖隷グループや公務員希望の方が多かったため、その要望に合わせましたが、今後幅広い方をお呼びできるように計画いたします。このほか、授業でもゲストスピーカーとして卒業生をはじめ、多様な分野で活躍している方々を招聘し、様々な方のお話を聞けるように設定しております。

2) 国際交流

- (質問) ・親にも海外研修等の情報を頂きたい。
・研修先を増やしてほしい。
・希望者を多く参加できなかった。
・海外研修を希望していたが、研修先が減り、参加できなかった。子どもが残念がっていた。

(回答) 2018年度は、「海外研修(4プログラム)」、「国際専門研修(3プログラム)」、「国際専門実習(3プログラム)」を実施します。詳しくは、グローバル教育推進センターホームページ・国際交流パンフレット・応募書類等をご覧ください。

2018年度は、新たに、オーストラリアのイーデス・コーワン大学で実施する3学部対象の「海外研修」(定員30名)、シンガポール工科大学で実施するリハビリテーション学部生対象の「国際専門研修」(定員20名)が増設されます。

また、社会福祉学部では、シンガポールナンヤン理工学院で実施する「海外研修」において10名を派遣しようと計画しています。

- (質問) ・海外研修の参加させたい気持ちはあっても費用が気になります。助成が充実していたらよかったですと思います。
・海外実習が高額なので、もう少し格安プランを提案していただきたい。

(回答) 研修派遣国は、シンガポール、韓国(安東市)、中国(重慶市)、オーストラリア(パース市)、アメリカ(カリフォルニア州)です。

費用は研修によって異なり、10~35万円程度必要です。日本学生支援機構から研修参加者に奨学金が給付されるものがありますが、対象・金額は毎年変わりますので、応募書類を参照してください。学生の皆さんは、計画的に資金の準備をしてください。

3) 学生生活

【施設・設備関係】

(質問) 大学周辺の外灯が暗い。不審者メールなどが多いが、駐車場や周りが暗く、夜間は不安です。

(回答) 2017年度に大学周辺の外灯のLED化が進み、以前よりは明るくなってきています。さらに大学では、後援会からの支援をいただきながら、引き続き外灯の追加工事を進めていきます。

(質問) 学生用Wi-Fiですが、学生ホールだけではなく、学校内全部で人数に関係なく使用できるようにしてほしい。他の学校は使えると聞きました。本人は、学校で宿題もやっていると、Wi-Fiがあると助かるようです。

(回答) 本学では全ての教室にWi-Fi設備を導入し、個人用のパソコンにつきましてもICTセンターにおいて登録して頂ければWi-Fi接続することができます。同時にネット接続できる台数には限りがあるため、現在は授業での利用を優先しスマートフォンの利用は学生ホールでの利用に限定させて頂いております。しかし、今後はスマートフォンを授業や勉強で利用するニーズも増えることが予想されるため、スマートフォンのWi-Fi接続についても検討を行い設備の増強を図ります。

【通学関係】

(質問) ・授業変更や授業の終了時間などにより、スクールバスがなく、1時間以上待った時があったようです。

・下校時のバスの運行時間が合わないため、遠鉄バスを使用している。

・スクールバスに無届者(複数)が乗車している。

(回答) スクールバスの利用者の皆さんの登校時間や下校時間等を調査し、運行時間の適正化を図ります。また、スクールバスに不正乗車をしている人を見つけ、懲戒処分も含め厳重に処分いたします。

(質問) ・第1駐車場横のバイク専用駐輪場に自転車が置かれていて、バイクが駐車できない。

・中型大型バイクの指定駐輪場に指定外の原付バイクが駐輪されていることがあり、ルールを守れない者への学校としての対応が甘い。

(回答) 学生支援協議会では、学生の皆さんにキャンパスルールやマナーを遵守するように、定期的に注意活動を行います。

また、学生の皆さんが発信するキャンパス・ルールやマナーを遵守する啓発活動動画を作成し、学生の皆さんが主体的にキャンパス・ルールやマナーを意識できるようしていきます。

(質問) 駐車場周辺は狭い道も多いのですが、スピードを出している車や一旦停止が不十分な運転をする学生さんもおられます。

(回答) 自動車やバイクによる通学者に対しては、交通安全講習会の受講を義務付けていますが、教職員による注意活動も昨年よりも回数を増やして行います。また、学生支援協議会では、学生の皆さんが主体的に事故防止を意識できるよう「交通安全宣言」と称した啓発活動をしていきます。

【健康管理関係】

(質問) ・予防接種等の実施日程や補助がもう少し充実していると良いと思う。

・実習等があり、予防接種を受けられなかった。大学で受けられるように対応してほしい。

(回答) 本学は医療機関ではないので大学で予防接種等の医療行為を行う事はできません。本学が学生に推奨する予防接種は小児感染症、B型肝炎、インフルエンザです。これらの予防接種については聖隷予防検診センター及び近隣医療機関の協力をいただき学生の皆さんがさらに受けやすい環境を整えます。まずは、B型肝炎ワクチンの料金(聖隷予防検診センターで受ける場合)を2018年度は6,480円から5,400円に値下げしていただきました。

【奨学金関係】

(質問) たくさんの奨学金制度がありますが、細かな内容がいまいち把握できない。もっと細かく情報がほしい。特に給付型奨学金についてです。

(回答) 奨学金の説明は、HPの奨学金欄やWeb版のキャンパスライフ(学生生活の手引き)でご覧いただけます。また、例年4月の第2週に各種奨学金の説明会を開催しています。保護者の方も出席できますので、ご利用ください。お申し出いただければ、いつでも募集要項等資料をお渡しいたします。

【学食関係】

(質問) 学食のメニュー、料金、味について改善してほしい。

(回答) 本学の食堂・売店は、業務委託契約を締結している業者との定期的な話し合いのもと運営をしています。

現在、「定食2種類、アラカルト、カレー・カツカレー、日替り麺、かけうどん・そば、麺セット、ミニ丼」など毎日10種類程度を提供しています。

アラカルトは日替りで「グラタン、パスタ、丼物、チキンバーガー」のほか学生考案メニューの「セレクトん汁セット、韓国グルメセット、ヘルシーセット、貧血予防メニュー、具だくさんパスタ、アラカルトスペシャル」などを、スナック類は「から揚げ、ポテト、コロッケ、春巻、ハッシュドポテト、シューアイス、クレープ、ドーナツ」などを販売しています。

毎週水曜日のランチでは、「カラダよろこぶメニュー」としてカロリー650kcal以下・塩分2g台・食品いろいろ15品目以上・野菜海藻がたっぷり摂取できるメニューを販売しています。

また、毎月1回のスペシャルランチの提供のほか、2018年度は6月と7月に「アラカルトスペシャル」の新メニューを1種類ずつ加えていく予定です。

お寄せいただいた意見をもとにできる限りご要望に沿えるよう業者と大学側で話し合いを継続して実施してまいります。食堂・売店への要望については学生ホール内に設置されている“ご意見箱”に投書いただければ直接業者に声が届くことも併せてお知らせいたします。

なお、価格も交渉していますが、食材の高騰などにより現状では値下げは難しい状況との回答となっています。ご理解とご協力をお願いいたします。

4) 相談窓口

(質問) 学生生活を進めていくうえで、迷った時やわからないことに保護者がどこに相談したらよいか分からない。

(回答) 各学部の学生には、学生の学修・生活を支援するアドバイザー教員がいますので、ご相談ください。また、学生関係で相談窓口がわからない場合は、学生サービスセンター 053-436-1125にご連絡をください。

5) 情報提供

(質問) ・ホームページ、ブログを毎日見えています。もうちょっと更新回数が増えるといいです。
・ホームページの更なる充実をお願いしたい。
・専門学校独自の行事活動の情報提供、学生の休み時間の様子を学生間で情報発信などはどうでしょうか。

(回答) ホームページのニュース、ブログとも内容、回数を工夫しながら引き続き発信していきますので、是非ご覧ください。

また、毎月1日にメールマガジンを発行、11月からはインスタグラムを開設していますので、ぜひご登録ください。

この報告書についてのご意見、お問い合わせは下記までお寄せください。
聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 後援会
〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町 3453
電話 053-439-1400 FAX 053-439-1406